

パブリック・コメント手続実施結果報告【様式3】

◇番号 17-3

◇案件名 中野四丁目新北口地区まちづくり方針（案）

◇意見募集期間 平成 29 年 12 月 18 日から平成 30 年 1 月 15 日まで

◇ 提出方法別意見提出者数

◇提出方法	人（団体）数
電子メール	3 件
ファクシミリ	0 件
郵 送	0 件
窓 口	0 件

◇ 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

※項目ごとの合計意見数、個別項目の意見の件数は公表しない。

・項目 1 第 1 章 中野四丁目新北口地区まちづくり方針の策定（1 件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	上位計画が中野区のものだけでも 4 つあり、個別計画として「区役所・サンプラザ地区再整備実施方針」がある中で、本方針を策定する意義をわかりやすく示されたい。	本方針は、対象範囲におけるまちづくりの進展を踏まえ、新たに「中野四丁目新北口地区」として位置付け、より良好なまちづくりへと誘導することを目的に策定したものである。第 1 章の「策定の目的」や「方針の位置付け」において考え方を示している。

・項目 2 第 4 章 中野四丁目新北口地区が目指す都市像（2 件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	「グローバル都市」を目指すところがあるが、中野らしい特徴のあるグローバル都市を目指すべきである。中野独自の生活感、中野五丁目の魅力等、一体性や連続性をまちの訴求力として組み込んで描かれたい。	関連計画である「中野区グローバル都市戦略」では、中野の立地特性や集積する産業・文化等の強みを最大限に生かしたグローバル都市づくりの方向性を示しており、本方針における「グローバル都市」も同様の考えである。 周辺地区との一体性、連続性については、都市計画審議会等における意見も踏まえ、追記する。
2	中野駅、新区役所、早稲田通り、中野通りを結ぶ複数の歩行者動線を地区の内部に設定し、大街区化に伴う分断と疎外感を和らげ、回遊性を確保することが不可欠である。歩行者ネットワークが計画の核となるべきで、回遊者の視点でさらに深化させ、計画全体の主題とされたい。	中野駅周辺における集客と回遊性を促進するため、建物整備に合わせ商業機能と歩行者動線が一体となった新たなにぎわい軸を形成する考えであり、地区の内部も含め歩行者ネットワークを構築していく。 「周辺各地区との回遊性の向上」は、本地区に求められる役割の一つとして掲げており、方針全体に係る考え方である。

・項目3 第5章 方針Ⅰ グローバル都市にふさわしい拠点形成について（2件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	既に市街地再開発事業が完了している中野四丁目新北口東エリアも含まれており、本エリアが果たす役割を中野五丁目の活性化を含む全域の有機的な回遊性確保を主軸に画かれない。	中野四丁目新北口東エリアを含めた中野四丁目新北口地区内や周辺地区への回遊を促す歩行者動線の最適な配置によって、「にぎわい空間による街並み形成」を図っていく。 周辺地区への回遊については、都市計画審議会等における意見も踏まえ、追記する。
2	以前、中野駅北口駅前広場にあった花壇が撤去されてしまい、駅前が殺風景になってしまった。グローバル都市を目指すならば、国内外の観光客が中野駅にきた際に感動を呼ぶ駅前ではなくてはならない。駅前に花壇を設置してほしい。	グローバル都市にふさわしい中野の個性を印象付ける空間デザインを誘導することによって、より快適で質の高い都市環境の創出を目指していく。

・項目4 第6章 方針Ⅱ にぎわいと安全・安心の空間創出について（5件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	駅前のにぎわい空間を創出するため、歩行者滞留空間にカフェを設置してほしい。	中野の魅力を発信し続ける駅・まち一体のにぎわい空間を創出する考えである。空間活用については、今後検討していく。
2	まちの環境性・防災性の向上の実現に向け、これに貢献する「CGS等の自立分散型エネルギーシステムの導入検討、整備」及び「エネルギーの面的利用」について具体的に推進していただきたい。	本方針は、安全・安心な空間創出の基本的な考え方を示したものであり、具体的な取組については、関連計画である「中野駅周辺におけるスマートな環境・防災都市づくり戦略」に基づき推進していく。
3	中野の先進性を具体化するため、他の国内事例に先んじて「2050年に向けた地球環境対策」に取組み、ゼロエミッションに近づけることを示すべきである。	地球温暖化対策を視野に入れた低炭素化につながる環境配慮とともに、災害時業務継続地区の構築に向けた防災性強化によって、持続可能な中心拠点の形成を目指す考えである。
4	新しいまちへの期待や愛着を醸成するとともに、完成後の違和感や疎外感を回避するため、まちの完成を待たずに、入居者や利用者、生活者との双方向的な意見交換組織を立ち上げる等、タウンマネジメントの先行を書き込まれたい。	まちの価値の維持・増進に向けたエリアマネジメントを展開し、継続的な集客によってまちの活性化を図るとともに、来街者が安全・安心に滞在できるよう、防災や防犯に向けた取組を促進していく考えである。
5	まちの記憶を未来へとつなぐ努力が重要である。サイン計画等に町名の由来を記すといったことに留まらず、歴史の連続性確保の努力を予め記載することが必要である。	ご意見を参考にしながら、まちの価値の維持・増進に向けたエリアマネジメントを展開していく。

・項目5 第7章 方針Ⅲ ユニバーサルデザインによる公共基盤整備について（4件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	中野四丁目新北口地区における再整備によって、中野駅を利用するアリーナの客、通勤・通学者等の乗降客が増加し、中野駅が対応出来なくなることが予想される。計画する動線の幅員は歩行者の増加に対応できるように広く十分となっているのか。	本方針では、公共基盤整備の基本的な考え方として、だれもが安全で円滑に移動しやすいユニバーサルデザインによる歩行者動線の最適な配置により、中野駅周辺における回遊性の向上を図ることとしている。 再整備の計画にあたっては、中野駅周辺各地区のまちづくりにより増加する歩行者交通量を推計し、各動線の幅員について、歩行者が安全に円滑に移動できるように検証し設定することとしている。
2	現在の中野サンプラザと中野区役所の間の道路の廃止は、中野通りを通行する歩行者や自転車を増加させることとなる。このため、道路は廃止せず、自転車及び歩行者専用の通路として整備すべきである。歩道と自転車レーンを設置し、歩行者の安全を確保し、自転車のスピード制限を設定して危険を防止してほしい。	本方針では、国際競争力の強化に貢献する拠点形成のため、新北口駅前エリアにおいて街区の再編を行うことを示しており、当該道路については廃止を検討している。 中野駅周辺の主要動線の考え方については「中野駅地区整備基本計画」に記載しており、歩行者ネットワーク・動線については、中野駅周辺中心部を歩行者優先エリアとして回遊性の向上を図ること、自転車ネットワーク・動線について自転車駐車場は歩行者優先エリアの外周に分散して配置すること、を示しており、駅中心部への自転車の流入を抑制することとしている。
3	現在の中野通りは、季節や時間帯によっては自動車が渋滞している。再整備によって自動車の交通量が増加し、中野駅前では慢性的な渋滞が発生するのではないかと。 中野駅直近における中野通りの渋滞への対処について、十分な事前検証を経ることの記載を加えられたい。	本方針では、公共基盤整備にあたって地区内の道路再編を行い、機能的かつ効率的な中野駅新北口駅前広場を整備するとともに、道路の立体的利用などにより、周辺一帯の安全で円滑な交通ネットワークを整備することとしている。 再整備の計画にあたっては、中野駅周辺各地区のまちづくりにより増加する自動車交通量を推計し、各交差点において安全で円滑な移動が確保できるように検証することとしている。
4	中野駅新北口駅前広場には庇を設置し、雨天時に傘を差さずに通行できるようにしてほしい。	本方針における公共基盤整備の基本的な考え方として、だれもが安全で円滑に移動しやすいユニバーサルデザインによる歩行者動線の最適な配置により、中野駅周辺における回遊性の向上を図ることとしている。 具体的な整備内容については、今後のまちづくりの進展に合わせて検討を進める。

・項目6 その他（1件）

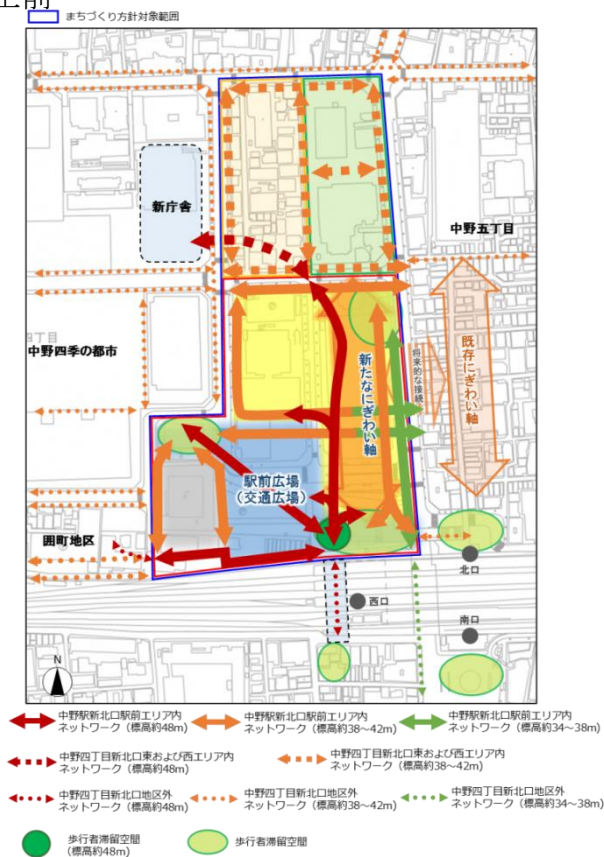
No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	本方針における新たな視点や状況の変化を受けて深化された目標を最優先し、遡って上位計画に積極的に反映するようにされたい。	上位計画等は、まちづくりの進展や社会経済状況等の変化などを踏まえ、必要に応じて改定するものとしている。

◇ 提出された意見により変更した箇所とその理由

◇	変更した箇所	変更の理由
1	P. 31「なお、新たなにぎわい軸の形成にあたっては、中野五丁目の既存のにぎわい軸と協調するよう配慮するとともに、将来的な中野通り沿道の建物の更新に合わせた歩行者デッキ等の接続に対応した設えを考慮したものとします。」を「新たなにぎわい軸の形成にあたっては、中野五丁目の既存のにぎわい軸との連続性の確保に向け、歩行者デッキ等による接続を考慮したものとするとともに、中野五丁目地区一帯については、既存のにぎわいと個性を生かしながら、安全性と回遊性を高めるまちづくりを誘導していきます。」に変更する。	歩行者ネットワークの形成に向け、中野五丁目地区のまちづくりを誘導する必要があるため。
2	P. 32「歩行者ネットワークイメージ」を別図のとおり変更する。	No.1の表記に合わせた表現とするため。

(別図)

・修正前



・修正後

